



湾岸・アラビア半島地域ニュース

イラク：ハリーリ産業鉱物大臣と駐イラク日本大使の会談

(12月10日付「アッザマーン」紙)

1. 12月9日の産業鉱物省の発表

ハリーリ産業鉱物大臣と門司日本大使は、12月4日、日本・イラク関係の一層の強化に向けての方策について話し合った。また日本企業が、イラクの公共部門や民間部門と事業を推進していく機会を作るために、来年始めにも日本とイラクの企業が一堂に会する会議を開くことについて意見を交わした。

2. ハリーリ大臣の発言

イラク政府は、国民和解を包括的に進めていく。(イラク・日本友好議員連盟の設立について)両国の立法府が、相互理解を深めることが重要である。

3. 門司大使の発言

最近の治安状況の改善が日本企業のイラク進出を促すことになるであろう。日本は新たに発足した福田内閣の下でも引き続きイラクの復興努力を支援していく方針である。

4. この他会談では、円借款(マドリード支援国会合で約束した総額50億ドルの対イラク復興支援のうち、これから実施する)15億ドルのイラク復興支援などについて意見が交わされた。